



令和5年11月16日	
所 属	歴史博物館
所属長	門田 真由美
電 話	06-6489-9801

## 尼崎市内の旧尼崎市立高等女学校と西正寺の2か所が 国の登録有形文化財に登録されます

国の文化審議会（会長佐藤信）は、令和5年11月24日（金）に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに290件の建造物等を登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣に答申を行う予定です。

この中に、尼崎市南城内に所在する旧尼崎市立高等女学校（尼崎市立歴史博物館・尼崎市立成良中学校琴城分校）の校舎等2件と、上坂部に所在する西正寺の本堂1件が含まれています。この2か所、3件の登録により、尼崎市内に所在する国の登録有形文化財は計14か所、57件となる予定です。

### 1 登録される建造物の概要

(1) 旧尼崎市立高等女学校（尼崎市立歴史博物館・尼崎市立成良中学校琴城分校）

#### ア 所在地

尼崎市南城内10-2

#### イ 登録建造物

No.	名 称	建設年代	種別	登録基準
1	旧尼崎市立高等女学校 (尼崎市立歴史博物館・尼崎市立成良中学校琴城分校)校舎	昭和13年 /昭和41年・ 令和2年改修	建築物・学校	1. 国土の歴史的景観に寄与
2	旧尼崎市立高等女学校 (尼崎市立歴史博物館・ 尼崎市立成良中学校琴 城分校)校門	昭和2年 /令和2年 改修	建築物・学校	1. 国土の歴史的景観に寄与

#### ウ 概 要

旧尼崎市立高等女学校（尼崎市立歴史博物館・尼崎市立成良中学校琴城分校）は、尼崎市南東部、尼崎城本丸跡に所在しています。現在は博物館、中学校分校として活用しています。

校舎は鉄筋コンクリート造3階建てで口の字の平面をしています。正面は横長窓を並べて装飾を抑えつつ、中央部を前方にやや突出させ、片持の<sup>くるまよせひさし</sup>車寄庇を太い円柱で支えるなど外観を特徴づけています。城内地区の象徴的存在です。

門は鉄筋コンクリート造で間口4メートル、親柱を2本立て、東脇柱との間は脇門、西脇柱の間には袖壁を付しています。全体に表面を粗く仕上げた石貼で、重厚な外観が城内地区に位置する学校の風格を示しています。



旧尼崎市立高等女学校(尼崎市立歴史博物館・  
尼崎市立成良中学校琴城分校)校舎



旧尼崎市立高等女学校(尼崎市立歴史博物館・  
尼崎市立成良中学校琴城分校)校門

(2) 西正寺本堂

ア 所在地

尼崎市上坂部3丁目85

イ 登録建造物

No.	名称	建設年代	種別	登録基準
1	西正寺本堂	享保7年	建築物・宗教	1. 国土の歴史的景観に寄与

ウ 概要

西正寺は、尼崎市北東部の園田地区に位置する旧上坂部村<sup>かみさかべ</sup>に所在しています。浄土真宗本願寺派の寺院で、寺地は概ね東西38m、南北42mの方形です。東西側は道路に南北側は隣地に面しています。周囲は<sup>おねべい</sup>屋根塀で画され、東側道路に面する中程に山門を開き、木造の端正な<sup>やくいもん</sup>薬医門があります。

本堂(享保7(1722)年建築)は境内中央の西寄りに東面して建っています。<sup>けたゆき</sup>桁行七間<sup>はりま</sup>梁間七間<sup>いりもやづくり</sup>入母屋造本瓦葺の建物で、本堂東面には山門と正対して一間の<sup>こうはい</sup>向拝を設け、本堂北側には大玄関を介して<sup>くり</sup>庫裏が配されています。また、南側及び西側には墓地が広がっています。



西正寺本堂

## 2 登録文化財制度の概要

国の登録文化財制度とは、平成8年の文化財保護法改正により導入された、主に近代（明治以降）の建造物を後世に幅広く継承していくことを目的に、緩やかな保護措置を講じる制度です。これまでに登録された主な建造物としては、東京大学安田講堂、京都南座、大阪城天守閣、兵庫県内では神戸市立博物館、布引ダム、明石市立天文科学館、尼崎市内では尼崎市立大庄公民館（旧大庄村役場）、尼崎市役所開明庁舎（旧開明尋常小学校校舎）などがあります。

## 3 解禁設定

本件については、文化庁より、令和5年11月24日（金）午後5時以降の解禁設定とする旨の通知がありましたので、各社のご協力をお願いいたします。

なお、登録にあたり所有者の談話をお預かりしていますので、ご希望される報道機関は歴史博物館にお問い合わせください。

以 上